



実践テーマ

フラッシュコンテンツを電子黒板で提示し、生徒が実際に電子黒板にタッチして、授業に参加する活動を通して、語彙力を深める。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 天気・日にち・時刻を電子黒板に提示し、生徒に英語で発音させる。(英語の授業の雰囲気をつくる)
- 〈展開〉 フラッシュコンテンツによる問題に班対抗で挑戦させる。発音される英単語について、生徒は一人ひとり画面にタッチし、正解をあてる。(知識・理解を深める)(生徒の興味・関心を高める)
- 〈まとめ〉 フラッシュコンテンツによる三択問題を、画面にタッチして解く。(知識・理解を深める)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気、日にち、時間を尋ね、英語学習の雰囲気をつくる(静止画)。</li> <li>・フラッシュコンテンツを提示し、生徒一人ひとりが電子黒板にタッチして、活動に参加できるように配慮する(Web)。</li> <li>・難易度を低くし、誰でも取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静止画(天気・日にち・時刻)</li> <li>●Web 「すすめタイムくん」</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュコンテンツで学習内容を振り返る(Web)。</li> <li>・電子黒板に英文を表示し、音読の手助けとする。</li> <li>・長い英文はチャンクに分け、意味のまとまりで身につけさせる。</li> <li>・プリントを使用して音読練習を行い、友だちとの交流を深めながら、楽しく学べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Web 「Flash中学英語三択問題集」</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの視写に取り組ませる。</li> </ul>	



フラッシュコンテンツを提示し、生徒が順番に画面をタッチして、正解を当てる



電子黒板に英文を提示し、生徒は顔を上げた状態で音読練習をする

生徒の反応・効果

- ・電子黒板に情報を表示することによって、生徒の視線が上がり、集中力が高まった。
- ・生徒が直接電子黒板にタッチし、体験的な学習を進めることが、興味・関心を高め、理解を深めるのに効果的であった。

活用のポイント

- ・50分の授業をすべて電子黒板で行うよりも、プリントや黒板を併用しながら、電子黒板を取り入れると、その効果が高まる。